

ご 挨拶



(一社)愛知県歯科医師会

会 長 渡 邊 正 臣

平成28年度愛知県歯科医学大会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、リオデジャネイロオリンピックが開催され、史上最多の41個のメダルを獲得し日本中が大いに沸きました。一流アスリートにとって歯が大切であることは広く知られることではありますが、健康で長生きをするためにも運動習慣と歯の関係が良好である必要があります、歯科界がその一助とならなければなりません。

さて、愛知県歯科医学大会は、歯科界では中部地区最大のイベントであります。また併設されている中部日本デンタルショーは第40回という節目の開催となります。今年度は『健康長寿社会を支える歯科医療 ～今こそ口腔ケア！～』をメインテーマとし、例年通り名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて2月18日(土)、19日(日)と二日間開催されます。

19日の特別講演におきましては、大阪府豊中市にて開業されている山本浩正先生に「メンテの型、技、そして心」と題し、あいまいなメンテナンスの効果を様々な“継続”という観点から捉え、メンテナンスで主役となる歯科衛生士にスポットを当てた講演をしていただきます。

また同じく19日に第2ファッション展示場で行われます企画講演では、愛知学院大学歯学部歯科矯正学講座 成人矯正歯科特殊診療科教授 宮澤 健先生をお招きいたしました。「一般開業医における小児期の矯正歯科治療の注意点と最新の矯正歯科治療」と題し、多くの一般開業医が知りたいと思っている混合歯列期前期における術者・患者双方のストレスフリーをめざした矯正歯科治療法を最新の知見を交えてお話ししていただきます。両講演とも、昨年につき小児期の咬合育成治療や口腔衛生に関する講演となり、翌日からすぐに診療に役立てていただけるものだと確信しております。

また例年同様に(一社)愛知県歯科技工士会ならびに(公社)愛知県歯科衛生士会の企画講演をはじめ、企業企画講演、各団体のワークショップ、デンタルファミリー余技総合展等、充実した内容となっております。

歯科医師会ブースにおきましては、地域保健部Ⅰによる骨粗しょう症の医療連携や臨床スポーツ歯科医の認定登録歯科医制度、地域保健部Ⅲおよび防災対策部によるポスター展示、医療管理部による歯科衛生士復職支援、更に学術部による唾液検査・口腔内カメラ・AEDの実習とこちらも日々の診療に必要な内容となっております。ぜひこの機会にさらなる知識、技術を身につけて頂き、地域のかかりつけ歯科医として地域医療により一層貢献していただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本大会の企画、準備、運営等にご尽力賜りました関係各位のご努力に対し、心より御礼申し上げますとともに、今後ともさらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶



(一社)愛知県歯科技工士会
会長 鈴木 永吉

この度、歯科医学大会、中部日本デンタルショーが盛大に開催されるにあたりまして私共(一社)愛知県歯科技工士会も共に参加出来ます事、大変喜ばしく思っております。本開催におきましては(一社)愛知県歯科医師会、(公社)愛知県衛生士会、東海歯科用品協同組合をはじめ多くの関係者の方々のご苦勞に対し深く感謝する次第であります。

愛知県において歯科技工士が歯科技工を生業とした時期の記録は、昭和5年頃からの記録が有りますが、戦後の昭和22年に愛知県において歯科医師会の協力を得て、全国初の講習会が開催されたとの記録が有ります。業界の黎明期の頃からこの愛知県が学術的にリードしていた事大変喜ばしく思っております。以後多くの学術研修会、学術大会等がこの愛知県に於いて開催され多くの歯科技工士がそれらの研修から得た技術、知識を惜しみ無く懸命に患者様に安心安全なる歯科補綴物を提供すべく頑張ってきた事と思っております。この愛知県歯科医学大会も40年の歴史を重ね歯科業界における長年の貢献は計りしれず私共歯科技工士も共に享受出来ます事大変感謝しております。

今回は技工士会の企画講演としましては河原英雄先生(佐伯市開業)をお招きして『超高齢時代の歯科(有床義歯編)』の演題で講演して頂きます。義歯は基より臨床歯科に於いて大変著名な先生であり、多くの聴講を期待しております。そして、テーブルクリニックでは加藤雄一郎先生(第7地区)に『ハイブリッド・硬質レジンの(年輪層状築盛法)』、久保田紘平先生(岐阜県歯科技工士会)に『私の考えるセラミッククラウンの製作要点』と若い先生方をお願いしております。他にも多くの歯科技工展示を企画しております。

今年は台北市(中華民国)に於いて5月27日から数年ごとに開催される『第6回国際歯科技工学会』も開催されます。

歯科技工士の減少問題、経済問題と業界には何かと暗い問題が継続しております。そんな状況下に於いても歯科に於ける技術は昨年のCAD/CAM冠の保険適用に見られますように、容赦なく進歩、変化しております。先に申し上げました様に多くの歯科界の先輩が築き、継続して頂いている所の学びのステージ、発表のステージを大切にし、一人でも多くの参加者が有る事を心より願い、大会の成功を心より祈っております。

開催のご挨拶



(公社)愛知県歯科衛生士会

会長 長 縄 弥 生

歯科医学大会、第40回中部日本デンタルショーが今年も変わらず盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。開催にあたりご尽力くださいました関係諸団体の皆様に感謝申し上げます。

また平素より本会活動におきましてご理解ご支援をたまわり、誠にありがとうございます。

さて歯科衛生士は診療介助などに関する技術習得を優先事項として教育されてきたため、患者指導などにおける“歯科衛生プロセス”という概念についてはほとんど学ぶ機会がありませんでした。“歯科衛生プロセス”はアメリカで研究開発された学問であり、歯科衛生の根拠に基づいて課題の解決と予防を考える思考理論です。

1948年に制定された歯科衛生士法は戦後アメリカの連合軍総司令部が大きく関与しており、当時の歯科衛生士の業務は「歯科予防処置」でした。歯科診療所の増加という社会情勢を受けて、1955年に歯科衛生士法を一部改正し、歯科衛生士業務に「歯科診療補助」が加わりました。こうして歯科診療所での歯科衛生士の需要が増えた結果「歯科診療介助技術」が優先されて現在に至り、歯科衛生を考えることなく経緯してきたと思われまます。

いま医療の高度化および社会保障費の増加などの大きな課題の取り組みの一環として、歯科医療にはう蝕、歯周病治療のみならず「口から全身への影響」を重視して、疾患や要介護状態の「予防」に果たす役割を求められています。また診療報酬および介護報酬においては「食べる」という口腔機能の維持向上を図る職能として歯科衛生士の役割が明確に位置づけられています。その結果従事する現場は、歯科診療所のみならず病院、福祉施設（高齢者、障がい者）、行政、養成機関と多岐にわたっています。

こうした現状があるにもかかわらず歯科衛生学という学問が教育されない現実は、口腔に関する社会的ニーズの高まりと歯科衛生士教育が対応できているか疑問です。しかし歯科診療所以外の現場では多職種連携の輪の中で歯科衛生学が根拠ある業務プロセスとして整理され、浸透されつつあると感じています。今後は4年制大学での歯科衛生士教育が中心となり「歯科衛生」の研究が進められる必要性を感じています。

今年の本会企画はウエルテック株式会社との共催で医療法人社団皓歯会 溝部潤子先生をお迎えいたします。昨年本会企画公演でお招きした佐藤陽子先生とともに「歯科衛生ケアプロセス」について研究されています。今回は一般診療所の視点で歯科衛生問題を科学的根拠に基づいて解決する導き方をお話しいたします。

現在の歯科衛生士には患者情報の収集とその整理、患者指導の根拠と患者自身に問題点を把握させる手法および予想される未来の状況を踏まえた歯科衛生指導計画を立案できる能力が求められます。

多くの歯科衛生士が互いに交流し、自分の専門分野を見出し研鑽する機会となる歯科医学大会になることを期待しています。

ご 挨拶



東海歯科用品商協同組合理事長
中部日本デンタルショー実行委員長

渡 邊 禮 巳

第40回中部日本デンタルショー開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

先ずは日頃、私共東海歯科用品商協同組合組合員との格別のお取引お付き合いを賜り、厚く御礼申し上げます。

「中部日本デンタルショー」は第40回という節目を迎えました。40年の長きに亘り続けてこられましたのも、歯科業界の皆様からの多大なるご理解ご協力を頂きましたお蔭と、心より感謝申し上げます。

今回も前回と同様に、講演会場としてメイン会場一ヶ所ならびにサブ会場二ヶ所を設けまして、格調ある歯科医学大会併設「デンタルショー」を開催する予定でございます。

「訪問診療」「外来環」等に必要な講習の開催や器材の集中展示を行う計画も練っております。また、毎回人気を博しております抽選会も、魅力ある景品を多数揃えまして皆様のご来場をお待ち致しております。

愛知県歯科医学大会のテーマは「健康長寿社会を支える歯科医療～今こそ口腔ケア！～」です。地域住民の方々のより良い『健口状態』を担っているのは、地域の歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士そして歯科用品商です。

全世界から集められた「歯科器材、最新情報」を吹上ホールいっぱいに表示致しますので、多数の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

今回のデンタルショーでは、参加予定企業185社以上、入場者数約1万人を見込んでおります。

私共東海歯科用品商協同組合は地域歯科医療の発展と安全安心を願い、歯科器材の安定供給と情報の伝達は対面と手渡しでの実行が重要と心掛け、活動して参ります。

今後ともご理解とご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、デンタルショー開催までご指導とご協力を賜りました(一社)愛知県歯科医師会、(公社)愛知県歯科衛生士会、(一社)愛知県歯科技工士会各位、ならびに出展企業およびご支援を頂いたすべての関係各位に厚く御礼申し上げます。